



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



巻頭言

教育委員長 美島 健二

平成最後の年として今年も残りわずかとなってまいりました。1年を振り返り、学術の分野における輝かしい出来事としては、京都大学特別教授の本庶 佑氏がノーベル生理学・医学賞を受賞されたことがあげられます。米テキサス大のアリソン (James P. Allison) 教授との共同受賞で、利根川進氏 (1987年)・山中 伸弥氏 (2012年)・大村 智氏 (2015年)・大隈 良典氏 (2016年) に次いで5人目の受賞となります。



本庶氏とアリソン氏は、がんを攻撃する免疫系を抑制する仕組みをつきとめ、その抑制を解除する「免疫チェックポイント阻害剤」を発見しました。このことにより、「手術、放射線照射、化学療法」に続く新たながん治療として「免疫療法」の確立がなされたことが受賞理由となりました。すなわち、本庶氏は細胞のアポトーシスを制御する分子として発見した PD-1 が、癌細胞表面に発現する PD-L1 と結合することにより免疫機能を抑制する作用を有していることを明らかにしました。加えて、本庶氏は製薬会社と協力して PD-1 の働きを抑える抗 PD-1 抗体、一般名・ニボルマブ、商品名「オプジーボ」と呼ばれる免疫チェックポイント阻害剤を開発されました。現在、オプジーボは悪性黒色腫、肺がんや腎臓がんの一部などの治療に应用されています。一方、アリソン氏は、リンパ球の中の T 細胞の活性化にかかわる物質として CTLA-4 (細胞障害性 T リンパ球抗原 4) を発見しました。また、アリソン氏は担がん動物をもちいた実験で、抗 CTLA-4 抗体の投与によりがんが消失することを示し、本庶氏と同様に免疫チェックポイント阻害剤を応用することにより癌治療が可能であることを明らかにしました。

本庶氏が PD-1 を発見してからオプジーボの開発まで、実に 20 年以上の年月が費やされたそうです。本庶氏の基礎研究から臨床応用まで粘り強く諦めない姿勢は、あらゆる分野に共通する“やり抜く力”が実を結んだものと言えます。

これから歯学部の学生達は、後期定期試験、進級試験、共用試験および国家試験とまさに多忙な試験期間に入ります。「歯科医師になり社会に貢献する」

という明確な目標のもと、粘り強くやり抜いて欲しいと期待しています。

最後になりましたが、この度の西日本を中心に降り注いだ豪雨により多くの被害が出ました。被災地の皆さまのご健康と一日も早い復旧をお祈りいたします。

昭和大学先端がん研究所の開所式が行われました

歯学研究科長 高見 正道

平成30年10月31日、昭和大学先端がん治療研究所の開所式がグランドプリンスホテル新高輪で行われました。

本研究所は、腫瘍分子生物学研究所を前身として8月に発足し、基礎医学から臨床医学へのトランスレーショナルリサーチを推進することで癌の診断・治療・予防の先駆的開発を目指します。運営においては、Texas 大学 MD Anderson Center 乳腺腫瘍内科部門長の上野直人教授をディレクターに迎え、所長には近畿大学より鶴谷純司教授が赴任されました。記念講演会では、上野ディレクターと鶴谷所長がそれぞれ専門とされる研究分野と今後のビジョンを述べられた後、本研究所と連携する中村清吾ブレストセンター長、角田卓也腫瘍センター長、および小林真一臨床薬理研究所長が具体的な研究内容について解説されました。

本研究所は、基礎医学から臨床医学、産学連携研究まで幅広い研究を行い、医・歯・薬・保の各学部や製薬・診断技術企業等との広範な橋渡し事業を展開する予定です。歯学部も口腔癌や術後の口腔機能障害など、がんに関連する深刻な課題をかかえており、本研究所との共同研究による新たな進展が期待されます。



(鶴谷教授による講演の様子)

マレーシア・イスラム大学ならびに香港大学との学生交流を行いました

歯学部国際交流担当 桑田 啓貴

10月19日、マレーシア・イスラム国際大学の歯学部学生の訪問を受けました。イスラム国際大学は



1983年に設立された公立大学です。メインキャンパスはクアラルンプールにあります。医療系学部はマレーシア半島の太平洋側にあるビーチリゾート Kuantan という街にあります。クアラルンプールからバスに乗って3時間の距離で、日本からも遠くはありません。3時間の短時間の訪問でしたが、歯科病院1階の障害者歯科診療室から6階の学生講義室まで病院全体を説明し、先進的設備などを中心に見学してもらいました。

続いて10月24日、香港大学歯学部からの学生訪問を受けました。香港大学は、2016年から現在まで3年連続世界歯学部ランキング1位です(QS World)。2007年に本学歯学部と学部間協定を結び、以来活発に交流を行っています。香港大学ではカリキュラムに海外選択実習が組み込まれており、学生自身がグループを作り、直接海外大学と交渉し、訪問プログラムを作成することでした。今回は昭和大学の紹介動画を見てもらった後、本学の特徴的教育プログラムについて教育推進室片岡教授より講義を行っていただきました。さらに本学学部生との交流活動として、歯科理工学、微生物学の学生実習へ参加、薬理学、生化学、生理学の研究室訪問を行いました。その後旗の台から洗足へ移動し、歯科病院を見学しました。補綴科、矯正科、口腔外科、口腔リハ科・地域連携の4分野を3グループのローテーションで見学してもらいました。まだ1-2年生で、臨床に関する知識が十分でなかったかもしれませんが、患者ロボット、デジタルラボを含めて、訪問した診療科のいずれにも強い興味を示していました。なお、昭和大学歯学部では、海外からの受け入れに加えて、海外選択実習などを通じて、学部生・大学院生・教員の派遣の機会を増やし、さらなる国際化を目指しています。



平成31年度推薦・編入学試験が実施されました

入学支援課 鳥山 ちひろ

11月3日(土・祝)に、平成31年度医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部の推薦入学試験と歯学部、保健医療学部看護学科の編入学試験が旗の台キャンパスにて行われました。

今年度、歯学部の推薦入学試験(25名募集)の志願者は68名(昨年度66名より2名増)、編入学試験(若干名募集)の志願者は6名でした。

当日は天候にも恵まれ特に大きなトラブルもなく、基礎学力試験に引き続き、小論文、面接の運営業務にご協力を賜りました教職員の皆さまに心から御礼申し上げます。そして、合格発表は11月6日(火)午後3時に行われ、推薦試験では26名(男7名、女19名)、編入学試験では2名(女2名)が合格しました。また、11月17日(土)には合格者へ向けたガイダンスを実施いたします。

今後の入試日程は、下記の通りとなります。1月24日(木)の一般選抜入試(I期)・センター利用入試(A方式)入学試験は、東京試験場(五反田 TOC ビル)の他、大阪試験場(新大阪丸ビル別館)、福岡試験場(南近代ビル)の計3試験場にて行います。教職員の皆さまには今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

入試種別 [募集人員]	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜入試(I期) [44名]		H31 1/24	H31 1/28
センター利用入試 (A方式) [10名]		センター試験 H31 1/19-20 個別試験 [面接] H31 1/24	H31 2/7
センター利用入試 (B方式:地域別選抜) [6名]	H30 12/19 ~	一次試験 [センター試験] H31 1/19-20	一次試験 H31 2/6
	H31 1/15	二次試験 [小論文・面接] H31 2/11	二次試験 H31 2/12
医学部一般選抜入試 (I期)利用併願入試 [3名]		一次試験 [学力] H31 1/25	一次試験 H31 1/30
		二次試験 [小論文・面接] H31 2/2-3	二次試験 H31 2/4
一般選抜入試(II期) [8名]	H31 2/4~ 2/21	H31 3/3	H31 3/5

行事予定

広報委員長 中村 雅典

12月1日(土):昭和学士会総会
大学院 I 期入試

夏季スポーツ大会報告会が開催されました

学生部長 上條 竜太郎

平成30年度夏季スポーツ大会報告会が9月25日(火)午後5時から旗の台キャンパス 上條講堂で行われました。これは、全日本歯科学生総合体育大会(オールデンタル)や東日本医科学生総合体育大会など夏季に行われたスポーツ大会で優秀な成績を収めたクラブと個人を大学としても表彰するものです。

平成30年度のオールデンタルは、通算して50回という節目を迎えた大会であり、神奈川歯科大学の事務主管のもと開催されました。今年の夏は、日本全体で記録的な猛暑と多くの台風など異常気象に見舞われました。その厳しいコンディションの中、オールデンタルが開催され、サッカー部の総合優勝と卓球部の女子団体優勝をはじめ各クラブが頑張り、総合成績は全29大学中第7位(去年は8位)と歯学部創設以来最高の成績を納めました。夏期スポーツ大会報告会では、小出学長と小口理事長がご挨拶を行われ、小出学長は「けがもなく無事に終わって安心しました。今後はスポーツでも大学を盛り上げていきたいので、引き続き文武両道で頑張ってください」と述べました。その後、夏季スポーツ大会での健闘を称え、表彰状の授与が行われました。続いて、剣道部の菊池君(歯学部4年生)が昭和大学宣言を行った後に参加者全員で校歌を斉唱し、閉会しました。



武重優秀クラブ賞・優秀クラブ賞表彰式が開催されました

学生部長 上條 竜太郎

武重優秀クラブ賞は、武重千冬学長のご逝去に伴い、武重家からの寄附金を原資として設けられた顕彰制度で、本学の名を宣揚せしめ、かつ最も優秀な成績を上げたクラブに贈られます。

平成30年11月6日、「平成30年度(第18回)昭和大学武重優秀クラブ賞・優秀クラブ賞表彰式」が、上條講堂で開催されました。小出学長の挨拶、小口理事長の祝辞に続き、各賞受賞クラブと主な業績が紹介されました。今年度は武重優秀クラブ賞が卓球部に贈られました。また、学長賞をはじめとする優秀クラブ各賞の表彰も行われ、歯学部関連では、歯学部長賞をサッカー部が受賞しました。本年度の歯学部

学生は、陸上競技部(学長賞受賞)、馬術部(医学部長受賞)、バスケットボール部(薬学部長賞受賞)、水泳部(保健医療学部長賞受賞)、管弦楽団(学生部長賞受賞)においても活躍しました。続いてグリークラブによる校歌斉唱・応援歌、応援指導部による応援エールをもって閉式となりました。



インフルエンザワクチン接種について

総合内科学部門 井上 紳

2018/19年シーズンのインフルエンザ流行について、厚生労働省からの最新の発生報告(第43週:10月22日~10月28日)をみますと、すでに全国で相当数の報告がみられます。北海道のほか東京・千葉・埼玉・大阪など大都市圏での発症が目立ちます。季節性インフルエンザのウイルスには、A(H1N1)亜型(平成21年に流行した新型インフルエンザと同じ亜型)、A(H3N2)亜型(いわゆる香港型と同じ亜型)、2系統のB型の4つの種類があり、いずれも流行の可能性があります。そのため2018/19シーズンワクチン株は A/シンガポール H1N1, A/シンガポール H3N2, B/プーケット山形系統, B/メリーランドービクトリア系統となっています。流行しやすい年齢層はウイルスの型によって多少異なりますが、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。なお、新たなインフルエンザ治療薬としてキャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬であるパロキサビル・マルボキシル「ゾフルーザ®」が発売されました。1回2錠の内服で治療が終了します。昭和大学歯科病院では11月6日、16日に教職員に対して予防接種を予定しています。早めの対策をお願いいたします。



受賞

広報委員長 中村 雅典

- 第55回 日本口腔組織培養学会学術大会
ベストプレゼンテーション賞
吉田 優子(歯科麻酔学部門)
- 第66回 JADR総会・学術大会
JADR学術奨励賞
瀧本 玲子(口腔外科学講座)
- Joseph Lister Award
植田 紫衣生(歯学部4年)

大学院説明会を開催しました

大学院運営委員長 桑田 啓貴

11月7日(水)17時30分より、歯科病院第2臨床講堂にて今年度3回目、最終の大学院説明会を実施しました。参加者は臨床研修医8名、5年生6名の合計14名でした。参加者には、大学院の概要を説明する大学院案内、入学試験要項、各講座・部門の紹介冊子が配られました。大学院入試に関する説明の後、各講座・部門(計18)からお越しいただいた先生の説明に真剣に耳を傾けていました。大学院入試の今後の予定ですが、春季Ⅰ期入学試験が12月1日(土)に開催され、合格発表が12月20日(木)16時に行われます。試験内容は外国語試験と専攻科目です。専攻科目試験および面接の実施方法については、主指導教員と事前に時間・場所について打ち合わせを行って下さい。なお、大学院は春・秋期合わせて3回の入試を行い、幅広く希望者の募集を行っています。今年度は最終の大学院入試は来年2月16日に実施されます。専攻科目、出願資格、奨学金制度、修了要件、専門医コース概要などの詳細につきましては、大学院案内等をご参考にしていただき、ご不明の場合は学事部大学院係までお問い合わせ下さい。多数の応募をお待ちしています。

日本口腔組織培養学会学術大会でベストプレゼンテーション賞を受賞しました

大学院4年(歯科麻酔学部門)吉田 優子

この度、平成30年11月10日に兵庫医科大学で開催された第55回日本口腔組織培養学会にて、「ベストプレゼンテーション賞」を受賞しました。本学会は、口腔組織・細胞培養という研究手法を共通に、臨床系および基礎系の多彩な分野の研究者が一同に集う学会です。様々な分野の研究発表を聞くことができ、大変有意義で貴重な時間を過ごすことができました。私は、「Cdc42は出生後の血管形成および血管を介した骨形成に重要な役割を果たしている」という演題で口頭発表を行い、本研究で作製した血管内皮細胞特異的Cdc42遺伝子欠損マウスの血管形成および骨形成に異常が認められることを報告しました。骨形成と血管の関連性および役割はまだ明らかになっていない部分も多く、この度の受賞を励みに更なる研究の発展に向けて努力する所存です。今回の受賞に際しまして、これまでご指導くださった全身管理歯科学講座歯科麻酔学部門飯島毅彦教授、口腔生化学講座上條竜太郎教授ならびに多くの先生方にこの場を借りて深く御礼申し上げます。



永年勤続者表彰式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

去る11月13日(火)午後5時から上條講堂において、学校法人昭和大学の平成30年度永年勤続者表彰式が執り行われました。今年度の表彰対象者は昨年度よりは若干増えて、勤続35年30名、25年78名、15年108名の合計216名でした。小口勝司理事長から、大学財産は人であると、永年大学の発展に貢献していただいた永年勤続者に感謝とねぎらいの挨拶があり、各勤続年代表者(35年代表:薬学部伊藤喬教授、25年代表:藤が丘リハビリテーション病院市川博雄病院長、15年代表:歯学部船津敬弘教授)に、表彰状と記念品が授与されました。昭和大学宣言に引き続き、校歌を斉唱し、壇上で記念撮影を行いました。

会場を移して、タワーレストラン昭和で懇親会が開催され、思い出話に花を咲かせました。

歯学部・歯科病院関係の表彰者は以下の通りです。(敬称略)今後も益々お元気でご活躍されますようお祈り申し上げます。

35年:岸水博子(歯科病院事務課)、松橋谷千代(歯科病院中央技工室)、池田秀一(歯科病院中央技工室)

25年:村田久子(歯科病院事務課)、手塚美紀(歯科病院臨床病理検査部)、木下芳樹(歯科病院中央技工室)、草間里織(横浜市北部病院歯科室)、木村有子(大学院保健医療学研究科)

15年:船津敬弘(障害者歯科学)、内海明美(口腔衛生学)、高場雅之(歯科補綴学)、船端友晴(歯科病院事務課)、柁澤恭子(口腔生理学)、井上利志子(歯科理工学)、吉原未浦(口腔外科学)、高地明子(歯科病院薬局)、酒井麻里(歯科病院歯科衛生室)



編集後記 口腔微生物学講座 深町 はるか

日増しに寒さが加わり、紅葉の美しい季節となりました。旗の台校舎では、恒例のイルミネーションが始まり、年の瀬が近づいたと実感いたします。

末筆となりましたが、ご多忙中、ご執筆頂きました先生方に深謝申し上げます。